

BC12 491 R12 6301

交通政策論 Transport Policy		
石田東生 (Haruo ISHIDA)		
単位 標準履修年次	Credit Year	2 2~4
学期 曜日 時限	Trimester Day Period	3 水 1・2
教室	Room	3A203

授業内容

Course Description

現代社会における交通計画の役割と任務について理解を深めることを本講義の目的とする。戦後の交通の推移状況をまず解説する。交通計画・政策の目的や交通経済学の基礎を教授する。道路交通・公共交通別に施設整備の考え方を概説し、これらを踏まえて、現代の交通が抱える多くの問題（合意形成、政策評価、地域づくりとの連携、・・・）について、欧米の最近の考え方や現在の政策なども紹介しながら、議論する。

単位取得要件・成績評価基準

Requirement and grading

試験(60%)とレポート(40%)により評価する。

教科書・教材

Textbooks and references

- ・新谷洋二編著(2003) 都市交通計画 (第2版) 技報堂
- ・森地茂・山形耕一編(1993) 新体系土木工学 60 交通計画 技報堂
- ・山内弘隆・竹内健蔵(2002) 交通経済学 有斐閣アルマ
- ・土木学会編(1992) 交通整備制度 -仕組みと課題-
- ・交通と環境を考える会(1995) 環境を考えたクルマ社会 技報堂
- ・みち研究会(2007) みち～創り・使い・暮らす～ 技法堂

- ・財団法人 国際交通安全学会(1998) ; 魅力ある観光地と交通 地域間交流活性化への提案, 技報堂
- ・シーニックバイウェイ支援センター(2006) シーニックバイウェイ北海道 “みち” から始まる地域自立 ぎょうせい

授業計画

Course schedule

1. 自動車とわれわれの暮らし・都市・地域
2. 交通政策の目的と意義
3. 交通需要の分析と交通サービスの費用分析
4. 道路交通 1 (道路の機能、法制度)
5. 道路交通 2 (道路設計、幾何構造)
6. 公共交通 (公共交通と都市)
7. 交通政策を支える仕組み (意思決定プロセス・PI等)
8. 交通環境政策
9. 観光政策と道路
10. 知的交通システム (ITS)